

コミュニティ 提案募集シート

団体名	京都メタバース・Web3活用コミュニティ
募集テーマ区分	1.観光 2.健康/医療 3.環境 4.交通/物流 5.農林 6.文化 7.教育 8.行政サービス 9.防災 10.感染症対策 11.その他(新技術活用)※複数回答可
コミュニティ 組成理由	A. 特定テーマに関する事例研究 B. 特定課題に関する情報交換
取組概要	<p>メタバース・Web3に係る技術の活用事例や法律の課題についての情報共有と交流の中で実運用について考察します。 コミュニティの活動例としては以下のようなことを行う予定です。</p> <ul style="list-style-type: none">・有識者を招いて基調講演や勉強会・参加者で課題、相談事について議論、解決への取組・プラットフォーム内の他WG活動との連携・補助金事業への提案・Discordを活用したDAOの試行
WG活動希望期間 /スケジュール (半年～最長1年)	2023年度(7月～翌年3月) ・1～2ヶ月に1度ペースでの課題ワークショップ・講演会 ・コミュニティ内個々の活動・相談事は随時(Discord)

メタバース・Web3活用コミュニティを設立します

価値創造の場として期待されている【メタバース】は、現実世界とは異なる「仮想空間」のことを指し、その市場規模は21年度時点の700億円から26年度には1兆円を超えるとされています。京都府においても京都府ならではのメタバースによる世界の人々との自由な交流を実現することで地域創生に資すると考えています。しかしながら、メタバースはデジタル上の空間であるが故に、アバターやアイテムを含むデジタルアセットの複製が容易であり、知的財産権の侵害などの問題を孕んでいます。

そこで、ブロックチェーン技術を基盤とした次世代インターネットである【Web3】とメタバースを組み合わせ、データ改ざんの防止やデジタルアセットの所有権証明等によって、それらの問題に対応できると考えています。さらに、メタバース内での様々な労働の報酬や取引にトークンを用いることによって、メタバースに現実と遜色のない経済圏を構築することが可能だと考えています。

一方、これらの事業には技術や運用に係る知識が求められるため、まずは情報共有の場が必要であると考えています。

本コミュニティでは、有識者等を交えて共に学び、産学公の交流を通じて、成功事例となる新しいビジネスモデルの創造や地域創生の実現を目指していきます。

■コミュニティでの活動例

- ・有識者を招いて、基調講演や勉強会
- ・参加者で課題、相談事について議論、解決への取組
- ・プラットフォーム内の他WG活動との連携
- ・補助金事業への提案
- ・Discordを活用したDAOの試行